

東陶器

7月号
令和7年7月1日
堺市立東陶器小学校
TEL 236-0036
FAX 236-0020

実感を伴って理解すること



左の写真は、1年国語の「つぼみ」という説明文の学習の一場面です。キキョウのつぼみが開く様子について本文に「さきのほうからいつに わかれて ひらいて いきます。」と書かれている部分を、体の動きを通して表現する「動作化」を取り入れました。これには、言葉で表されていることが何を表しているのか、動きを通して実感できるようにするというねらいがあります。そこで『五つに分かれて』と書いているから5人必要だ（向こう側にもう一人います）や『先の方から分かれて』だから最初は指先をくっつけておいて、そこから開いていこう」といった、本文にある言葉を根拠にした気づきを大事にしています。そのことによって、言葉の意味をより深く理解することができ、動きを通してみんなに共有されます。



また、左の写真は、2年算数の学習の一場面です。つかみ取りしたたくさんのクリップが、一体何個あるのかを数えているところです。いくつかのまとまりがありますが、これは、数え終わったクリップを10のまとまりで分けているからです。この後、10のまとまりをさらに10個集めて100を作り、残りの10のまとまりと「ばら」の数を数えて何個あるかを明らかにしていきました。1なり10なりが10個集まれば位が1つ上がるという十進位取り記数法の表し方やそのよさを、数えるという体を使った活動を取り入れることによってさらに深く理解させようというねらいがあります。最終的には、どのグループでも「何百何十何」という3けたの数になりましたが、数字なら1秒足らずで書き表せるその数が、実際はどれほどのものなのかということ、活動を通して実感することができました。

さらに、右の写真は、6年算数の分数のわり算の学習ノートです。問題は、「4分の1dLで5分の2㎡塗れるペンキが1dLあれば何㎡塗れるか」というものです。式は（5分の2）÷（4分の1）となります。4分の1dLで塗れる面積を、1㎡を5つに分けた2つ分で5分の2㎡と表し、その4つ分が1dLで塗れる面積であることを図にしています。これは上の1・2年の例のように動作化や操作を伴うものではありませんが、「5分の2㎡」や「4分の1dL」のように単に数で表されているものを、目に見える量に表して実感を増すという点で、上の1・2年の例に共通するものがあります。そのうえで、÷4分の1が×4と同じだ という、分数でわることを意味をとらえています。

低学年では「身体性」をキーワードとして、実感を伴った理解を大切にすることが、中・高学年でのよりよい学びにつながるものと考えています。

解剖学者としての研究から、日本の社会や教育のあり方について独自の立場からの発信を続けておられる養老 孟司（ようろう たけし）さんは、「身体性」について下のように言われています。

…あんまりサボらないで、たまには辞書を引いていただきたい。今は便利なのでスマホで引いちゃうんですよ。辞書を引くのは体力もいるんですよ。しかし、体を使うのは非常に大切なのに、今の人は使わなさすぎます。「指の先で押せばいいってもんじゃないだろ」って、時々考えてください。楽すると何が起きるかはもうはっきりしています。それは「自分が教育されない」ということです。車にばかり乗っていたら歩けなくなる、それと同じです…

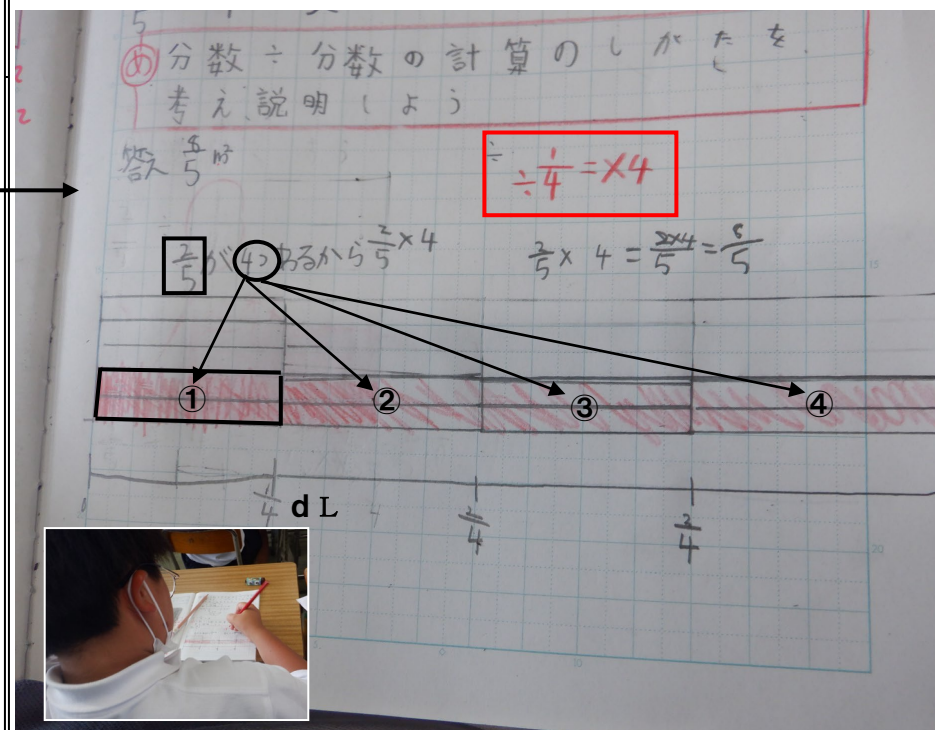
各学年それぞれの段階で身につけるべき内容を、それにふさわしい方法で習得しながら、実感を伴って理解し、納得を求めて追究できるように、教科等での学習を進めていきたいと考えています。

7月の行事予定

2	水	一斉登校指導 1～4年A4 5・6年A5
3	木	個人懇談 S4下校 13:15
4	金	個人懇談 S4下校 13:15
7	月	個人懇談 S4下校 13:15 スクールカウンセラー来校
8	火	個人懇談 S4下校 13:15
9	水	※全校A4下校 13:45（～17日）
10	木	※全校A4下校 13:45
11	金	※全校A4下校 13:45
14	月	※全校A4下校 13:45 スクールカウンセラー来校
15	火	※全校A4下校 13:45
16	水	※全校A4下校 13:45 学校協議委員会 16:00
17	木	給食最終日 ※全校A4下校 13:45 スクールカウンセラー来校
18	金	1学期終業式 A3下校 11:45
21	月	海の日（祝日）
22	火	夏季休業（～8月24日）

※7月9日（水）～18日（木）は全学年4時間授業とし、給食終了後13時45分ごろの下校となります。

6年 分数でわるとはということか…納得いくまで追究します。



学校の様子はブログでもお知らせしています。携帯、スマホでも御覧いただけます。

<http://www.sakai.ed.jp/weblog/index-i.php?id=sakai058>

教育目標
○よく考え 主体的に活動する 心豊かな子の育成
教職員像
○自分大好き ○友だち大好き ○学校大好き
子ども像
子ども一人ひとりのために「学校力」を発揮する教職員
子どもたちの学びを支える笑顔いっぱい元気な教職員
子ども
○笑顔で登校し、笑顔で下校する子ども
○感謝の気持ちを言葉で伝えられる子ども

8月の主な行事

○8日（金）
～15日（金）
学校閉庁日
○25日（月）
2学期始業式
A3下校 11:45 ごろ
○26日（火）
A3下校 11:45 ごろ
○27日（水）
給食開始
A4下校 13:45 ごろ
○28・29日（水・木）
A4下校 13:45 ごろ
○9月1日（月）～
通常校時での授業

※予定は変更する場合があります。

歯を大切にしましょう

1 歯科検診の結果（各学年の「むし歯」がある人の数）

1学期に実施した歯科検診の結果、各学年で「むし歯」がある人の人数は下の表の通りです。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数	21	55	34	54	25	45

本校の例年の傾向として、堺市の他の小学校に比べて、「むし歯」がある児童の数が多くなっています。また、「むし歯」がある児童の割合は、全学年平均して堺市全体の2倍以上で、中には3倍以上の学年もあります。

（※今年度の堺市のデータはまだないため、昨年度のデータと比較しています）

検診結果はすべての児童にお渡ししますが、特にむし歯などの疾病がある場合は、夏休みを利用してぜひ受診のうえ、治療してください。

2 検診された歯科の先生のお話

- 乳歯にむし歯がある場合は、「そのうち永久歯に生えかわるから」ということで治療しないケースがあるようですが、それは永久歯にも悪い影響が及ぶ可能性があります。
- むし歯の原因は、日常の歯のケアが十分でない場合が多いが、これは長期的に見て、大人になってから永久歯を失うことにつながる可能性があります。
- 「永久歯は32本もあるのだから、1本や2本なくなっても、大したことはない」という考えは間違っています。長い進化の過程で、必要があって32本になったのだから、1本1本がそれぞれの役割を持っています。1本が抜けると、必ず周囲の歯に無理が行き、その歯もいためることになります。
- むし歯を治療することと、抜けた歯を補うことのコストやリスクに大きな違いがあることを考えてください。入れ歯には違和感や手入れの面倒さがあるし、ブリッジをするためには周りの歯を削る必要があります。また、インプラントは保険がきかないので、相当な費用がかかります。
- それに比べれば、むし歯の治療にかかる費用は安くて済みます。堺市には「子ども医療費助成制度」というものがあるため、1回あたり500円の自己負担で治療を受けることができます。

3 「子ども医療費助成制度」について（堺市HPより）

堺市では、安心して子どもを生み育てることができ、子どもたち一人ひとりがいきいきと輝き、のびやかに育つ環境をつくるとともに、子育て世帯の負担軽減のために、「子ども医療費助成制度」がつくられました。そして、平成31年4月からは、医療費の助成制度の対象が、所得制限なく高校生世代にまで拡充されています。

① 子ども医療費助成制度の内容

通院や入院（入院時食事療養費を含む）で医療機関などにかかったときの医療費が助成されます。一部自己負担額は、1医療機関あたり各日500円以内で月2回までです。3回め以降は、自己負担額はなくなります。

②子ども医療費助成制度の対象

対象年齢：高校卒業まで（18歳に達した日以後の最初の3月31日まで）

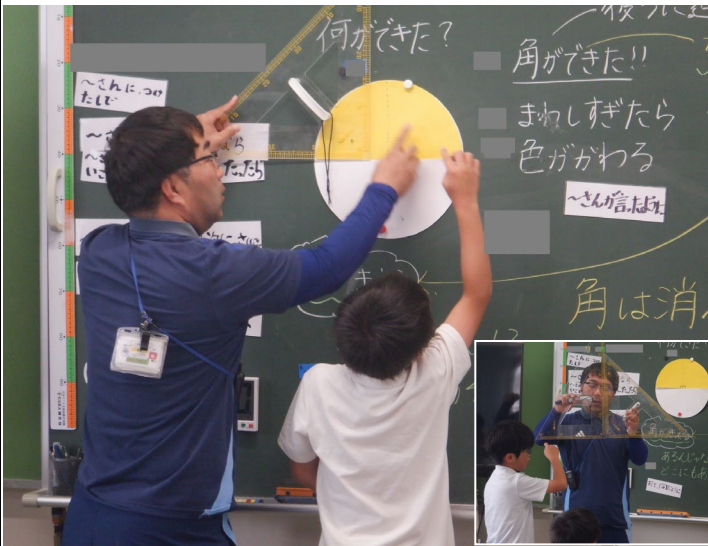
太陽学級 しっかり育てたじゃがいもをみんなで収穫です。



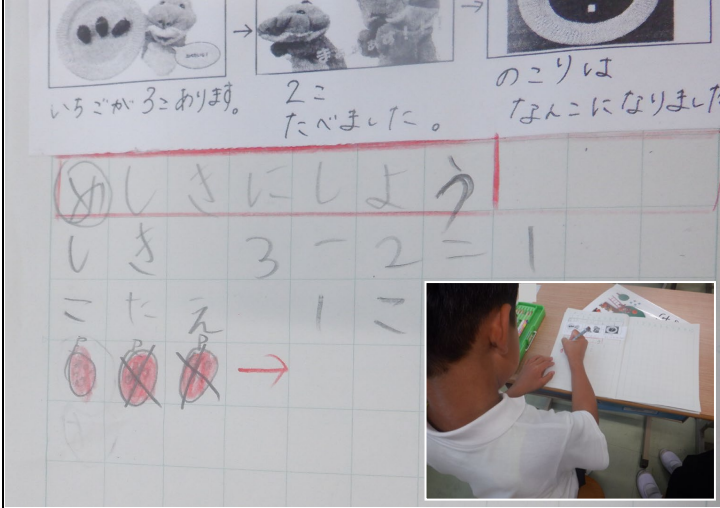
2年 見て触ってにおいをかいで・五感を使って観察します。



4年 角とは何なのか、意見を出し合って学びます。



1年 問題の場面を絵や図に表し、式とつなげて考えます。



3年 校区について学んだことを生かして、堺市について学びます。



5年 田植えの様子です。地域の方にご協力いただいています



